

「中学生によるまちづくり提案」の概要

1. 経緯

こども議会（※）の開催に合わせ、本市総合計画の授業を実施した。その中で「もし自分が市長だったら・・・仙台をこんな街にしたい」という視点で東北学院中学校の3年生を対象に意見を聴取した。

※こども議会とは

市議会の議場などを見学するとともに、児童・生徒が議員の席に座って、常任委員会と本議会の審議をロールプレイ形式で体験するもの。市民生活に身近な問題にかかわる条例案が、市議会に提案されてから審議を経て議決されるまでをシナリオに基づいて議員の役を演じながら、議会の仕組みを学ぶことができる。

2. 実施概要

(1) 実施日

平成21年10月28日（水）

(2) 対象

東北学院中学校 3年生 （92人）

(3) 実施方法

こども議会の開催に合わせ行った本市総合計画の授業にてアンケートを実施し、講義終了時に回収した。

3. 結果概要

(1) 提案者数 91人 （回収率 99%）

(2) 主な提案の属性

分類	提案者数
①環境関連	38
②経済活性化	17
③都市機能（交通、道路等）	15
④教育・学術	5
⑤やすらぐまち	5
⑥観光	5
⑦その他	6

4. 主な意見

- ① 「環境関連」について 寄せられた意見のなかで大多数を占める項目。緑あふれる都市にしたいという意見が多かったほか、ごみゼロ推進によるきれいな街づくり、環境率先都市（エコ）を目指したいという意見が多く寄せられた。
- ② 「経済活性化」について 活気ある街（観光、繁華街、産業発展等）を望む意見が多かったほか、企業誘致により雇用創出の拡大を図っていききたいとの意見が寄せられた。
- ③ 「都市機能」について 公共交通機関の利便性の向上及び歩道整備による歩きやすい街づくりを進めていきたいとの意見が寄せられたほか、地下鉄運賃の値下げに関する要望も多数寄せられている。
- ④ 「教育・学術」について 学校の無償化に関する要望のほか、学術都市を推進していききたいとの意見が寄せられた。
- ⑤ 「やすらぐまち」について 地域コミュニティの強化、若者と高齢者のふれあい、共助など、人々の結びつきが強い親切的な街をつくりたいとの意見が寄せられた。
- ⑥ 「観光」について 観光資源（商店街、食文化、仙台城址等）の整備による国内、海外からの観光客の誘引及び行政トップによるPRが必要との意見が寄せられた。
- ⑦ 「その他」 保育所の整備推進や地震に備えた公共施設の耐震化、一般住居への耐震制度づくりをしたいとの意見が寄せられた。

5. 総括と今後の取扱い

自分たちが今後数十年間生活をしていく都市の都市像とあって環境関連、特に「杜の都」の保護、推進への希望、ゼロエミッションの推進によるきれいな街の実現、低炭素社会への取組推進による環境率先都市づくりへの意見が多く見られた。

また、活気ある街の実現や地域コミュニティの強化を望む声など、現代社会への閉塞感が感じられる意見が多く見られた。

将来社会を担う若者たちへ残していく資産として、環境配慮、環境調和型社会の形成、杜の都の環境づくりが重要であると思われる。

中学生から寄せられたこれらの提案については、基本構想策定の際に参考としていく。

以 上